∞小川中だより "燦々Ⅱ"

自主 感性 敬愛

No. 40 令和2年2月21日(金)発行 文責: いわき市立小川中学校長 津田

<ハンドボール部、大会で健闘!>

先週の15日(土)、内郷一中体育館を会場にいわきハンドボールフェスティバルが開催され、本校 ハンドボール部が第2位となりました。試合は男子4チームによるトーナメント戦で行われ、1回戦 の中央台北中には28対10で勝利し、2回戦の内郷一中には11-21で惜敗しました。次の大会 ではこの雪辱を果たし、優勝することを期待しています。

<ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業>

絆ふれあい支援事業については、前回の学校だより36号でご紹介しましたが、この度、この事業 の作品集が学校に届けられました。小川中学校は、この事業に継続して作品を出品しています。今回 の作品集には4つの作品が掲載されました。そのうち "絆部門" の2作品については、学校だより3 6号でご紹介しました。今回は、"復興部門"の2作品をご紹介します。

震災でも 変わらなかった ぼくの夢(1年生男子)

君の夢 支えていくよ いつまでも(母)

お互いに マハロの気持ち 忘れない(3年生女子)

太陽に 笑顔はじける フラの夏(母)

<福島県書きぞめ展で奨励学校賞を受賞>

先日の新聞で報道されましたが、第68回福島県書きぞめ展において、 小川中学校が奨励学校賞を受賞しました。これは、全校生徒が書きぞめ 展に参加していることから表彰されたものです。今回も国語の書写の授 業で書きぞめに取り組み、特選が24名、金賞が57名、銀賞が76名 となりました。

書きぞめは日本の年中行事の一つで、新年になって初めて毛筆で字や 絵を書くことを言います。同じ意味の言葉としては筆始(ふではじめ) などがあり、通常は1月2日に行われます。歴史的に見ると、若水(わ

かみず:元日の朝に初めて汲む水)で墨を摺り、恵方(歳徳神のいる方位で、年によって異なる)に向 かって詩歌を書く習慣があり、もともとは宮中(朝廷)で行われていた儀式でした。江戸時代以降にな ると庶民にも広まりました。書に親しむ機会は、書道塾などに通っている場合を除くと、中学校を卒業 するとほとんどなくなることが多いと思います。そのように考えると、中学校の書写の授業はとてもよ い機会だと思います。

<卒業式全体練習を実施>

2月17日(月)の6校時に卒業式の全体練習を行いました。今回が 最初の全体練習で、卒業式の意義や礼の仕方などを確認しました。今後 も全体や学年で練習を行う予定です。

卒業式は学校行事の中で最も重要な行事です。中学校3年間を終える と同時に、9年間の義務教育を終えるという大きな節目であるからです。 日本の奈良時代以降には"元服"という成人を示す儀式がありました。

男子では、おおよそ数え年で12~16歳がそれにあたりました。江戸時代以降は女子にも同じように 元服があり、結婚と同時に行ったり、未婚でも18~20歳くらいで行ったりしていました。いずれに しても、一歩大人になることには間違いないと思います。現代の場合は、中学校卒業後の進路を自分で 選択し、自分の意思と努力で未来を創り始めることが、 "元服"にあたるのではないかと思います。

<体力向上運動を開始>

2月17日(月)から3月10日(火)の朝の時間(7:15~7:45)に、希望者を対象とした体力向上 運動を、保健体育科で始めました。これは、本校生徒の肥満率が高いという健康面の課題や、新体力テ ストの結果から見える体力面の課題を改善するための取組です。活動内容は、基礎的な運動である体つ くり運動と持久力の向上を目指したトレーニングに分けて実施します。基礎体力を向上させることは 部活動への効果ばかりではなく、日常生活での健康維持にもつながります。春本番の到来に合わせて、 大いに活動してほしいと思います。

<学校評議員会を開催>

2月18日(火)に学校評議員会を行いました。はじめに4校時の授業 (1年生の国語と体育、2年生の音楽と総合、3年生の理科と英語)を参 観していただき、生徒の活動の様子や教員の授業の進め方などを見ていた だきました。その後、校長室で昼食を試食していただきました。今回のメ ニューは生徒たちにも高評のメロンパン、鶏肉のバジル焼き、卵入りスー プ、牛乳プリン、牛乳でした。





昼食後は代表生徒との懇談を行っていただきました。学校生活の様子について生徒から直接聞き取っていただきました。最後に校長・教頭との懇談をもっていただき、これまでの学校運営について説明を行うとともに、今後の学校運営に対してご意見等をいただきました。お忙しい中、ご来校いただき、改めてお礼申し上げます。

<令和2年度前期生徒会役員の決定>

2月3日(月)に告示された令和2年度前期生徒会役員選挙ですが、役職定員と立候補者数が同数であったため選挙は行われず、2月19日(水)の立会演説会を実施して無投票当選となりました。

立会演説会では立候補した5名が、立候補した理由や決意、目標などを堂々と述べていました。また、責任者となった生徒たちも、立候補者の長所や人柄、自分が応援する理由などをしっかりと述べていました。無投票ですが当選には違いはありません。演説会などで述べてきた事柄を1つでも多く実現できるように、創意工夫して生徒会活動に取り組むことを期待しています。令和2年度前期生徒会の執行部は次のとおりです。※敬称略

会 長 川田 真優 (2-2) 副会長 七海 拓夢 (2-1) 草野 葵 (2-2) 書 記 髙木愛奈美 (2-1) 中島 愛心 (1-2) 先輩からの伝統を受け継ぎ、守りながら、新しい風 を吹かせることを期待しています。





立会演説会

選挙管理委員会

<生徒会専門委員会を開催>

今週の12日(水)の6校時に、後期生徒会専門委員会を行いました。今回は、後期活動の反省と次年度への引き継ぎ事項の検討を行いました。

週番、放送、保健、JRC、美化、図書、給食の7つの委員会で活動してきました。どの委員会も学校生活には欠かせないもので、学級や学年全体に関わる活動を生徒たちが自主的に行ってきました。この他、特別な委員会として選挙管理委員会と応援団があります。この2つは必要な時期に合わせて活動を行ってきました。今年度も、それぞれの委員会が活動目標をしっかり定め、責任を持って活動してきたお陰で、とても落ち着いた中で学校生活が送れました。それぞれの委員会の活動に対して、互いに感謝の気持ちをもつことが大切だと思います。

<県立高校の前期選抜の志願状況が確定>

2月17日(月)に県立高校前期選抜の出願先変更が締め切られ、その志願状況が18日(火)の新聞に掲載されました。これで出願手続きは一切終了となり、後は3月4日(水)から始まる選抜試験を残すのみです。今年度から高校入試制度が変更となり、前期選抜試験では全ての受験生が学力検査を受けることとなりました。前期選抜には特色選抜と一般選抜、連携型選抜に分けられ、特色選抜では学力検査に加えて、面接(個人または集団)の結果やスポーツや学業などの実績、実技の結果などが判定資料として活用されます。一般選抜では、高校によって面接や学力試験の傾斜配点などが行われます。

いずれにしても、学習を根本に、中学校3年間で培ってきたものをすべて発揮することになります。 試験当日まで、2週間を切りました。今最も大事なことは体調の管理です。風邪やインフルエンザ等の 感染症に十分気をつけ、手洗い・うがい・マスク等で確実に予防することです。そして、無理のない程 度に最後の復習に取り組むことです。また、心を落ち着け、リラックスする時間も必要です。保護者の 皆さんご協力もよろしくお願いします。なお、2月18日(火)現在のおもな県立高校の志願状況は、 次のとおりです。

>							
高校名(学科名)	定員	志願数	倍 率	高校名(学科名)	定員	志願数	倍 率
磐城	280	289	1.03	湯本	2 4 0	2 1 0	0.88
磐城桜が丘	2 4 0	293	1.22	勿来工(機械)	4 0	4 5	1.13
平工業(機械)	8 0	7 7	0.96	(電気)	4 0	3 9	0.98
(電気)	4 0	2 9	0.73	(電子)	4 0	3 4	0.85
(制御)	4 0	3 2	0.80	(建築)	4 0	5 1	1.28
(土木)	4 0	5 8	1.45	(化学)	4 0	4 8	1.20
(情報)	4 0	6 1	1.53	好 間	8 0	7 8	0.98
平商業 (会計)	4 0	3 2	0.80	四倉	8 0	3 9	0.49
(流通)	8 0	8 6	1.08	ふたば未来	160	194	1.28
(情報)	8 0	5 9	0.74	同 連携型	6 0	7 0	1.17
いわき総合	200	185	0.93	いわき翠の杜昼	8 0	4 2	0.53
いわき光洋	200	283	1.42	※塗りつぶした部分は、志願者が増加した学校・学科			

【来週の予定】

月日	曜日	給食	おもな行事
2月24日	月		振替休日
2月25日	火	0	SC・司書来校
2月26日	水	0	ノー部活デー 卒業式3学年練習(5校時) 職員会議
2月27日	木	\circ	
2月28日	金	\bigcirc	卒業式全体練習(6校時)